



今月の主な内容

- ◆ 防災特集 災害から身を守るために P 2 ~ 3
- ◆ 功労者表彰式開催 P 4
- ◆ 海と大地 子どもふれあい交流 実施 P 5
- ◆ スーパービレッジ構想『見守りサービス』 P 6 ~ 7
- ◆ 村のわだい・村からのお知らせ P 13 ~ 17

表紙の風景

8月12日、役場前通りでは4年ぶりとなる『第58回どんぐり村の盆おどり』が開催され、村内外から多くの方が訪れました。子供盆踊り、大人のゆかた踊りのあとは花火の打ち上げも行われ、歓声が上がりました。

台風・大雨など、自然の脅威は地震だけではありません。私たちは、様々な自然災害がいつ発生しても不思議ではないことを自覚し、日ごろから万が一に備える必要があり。防災対策で大切なことは、自分の身の安全を守るために一人ひとりが取り組む「自助」です。今月号ではそのポイントを紹介します。



昨年11月の更別中央中学校防災学校の様子



避難所用テントとベッド



昨年11月の更別中央中学校防災学校の様子

● 公助
役場が準備していること

役場では、「いざい」というときのために、次の取組を実施しています。

- 防災資材・備蓄品の保管
日本赤十字社更別村分区分区とともに防災資材や食料品などの備蓄品を購入、保管しています。
 - 避難所設置・運営
大規模な災害が発生した場合に、社会福祉センターなどに避難所を設置します。
 - 防災メール
令和3年8月から「防災メール」の運用を開始しました。事前登録された方に防災行政無線の内容をメールで送信しています。
 - 防災マップの作成
避難所や避難場所の確認ができる防災マップを作成し、ホームページで公開しています。
- なお、今年度は洪水ハザードマップを作成しています。完成しましたら、再度、お知らせいたします。



防災トイレ



更別村防災倉庫

● 自助・共助
自分自身や家族を守るために
個人や地域でできること

- 災害から自分自身や家族の身を守るには、一人ひとりの防災知識を高めるとともに、万が一の際に近隣で助け合える、協力し合える地域づくりが重要です。行政区の皆さんで確認するなど、防災意識を高めましょう。
- ① 防災体制を確認する
行政区内で災害時の役割分担や、避難ルート、危険地域や連絡体制をあらかじめ確認しておくことで、いざいというときの迅速な行動につながります。
 - ② 避難に時間を要する方等を確認する
行政区内の高齢者や障がいのある方、子どもなど、避難に支援が必要なる方を確認しておくことで、早めの避難が可能となります。
 - ③ 防災備蓄品などを確認する
災害時に必要な資機材や備蓄品について、個人で用意するほか、行政区で準備するなど、地域の防災力を高めましょう。



上更別区での防災訓練の様子

ポイント1 避難指示までに必ず避難！



警戒レベル	避難情報など	状況・対応
5	緊急安全確保	災害が発生または切迫し、命の危険が迫っています。直ちに安全確保をしましょう。
4	避難指示	災害発生の恐れが高いため、危険な場所から全員避難しましょう。
3	高齢者等避難	災害発生の恐れがあるため、避難に時間を要する高齢者や障がいのある人は危険な場所から避難しましょう。
2	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）	
1	早期注意情報（気象庁）	



警戒レベル4 避難指示

- ◆ 警戒レベル5は、「災害発生情報」から「緊急安全確保」に変更され、直ちに安全な場所で命を守る行動をとるよう呼びかけが行われます。
- ◆ ただし、警戒レベル5は既に災害が発生・切迫しており命の危険がある状態であるとともに、必ず発令される情報ではないことから、警戒レベル5を待つことなく、警戒レベル4までに避難することが必要です。

もしもに備えて・・・

- ◆ 停電に備え、懐中電灯や予備電池を準備し携帯電話も充電しておきましょう。
- ◆ 断水に備え、飲み水を確保し、浴槽に水を貯めるなど、生活用水を確保しましょう。
- ◆ すぐに避難できるよう、貴重品や非常持出品を準備しておきましょう。

避難の指示が出たら・・・

- ◆ ガスや電気、火の元を確認し、速やかに避難しましょう。
- ◆ 一人での行動はさけ、できるだけ複数で避難しましょう。
- ◆ 水害時の避難のときは、長靴は水が入り歩きづらくなるのでやめましょう。また、すぐ脱げる靴もやめましょう。スニーカーなど、歩きやすい靴にしましょう。
- ◆ 洪水などで避難所まで行けない場合は、高い所や川から離れた場所へ避難しましょう。

ポイント2 避難場所と避難経路を事前に確認！

- ◆ 防災マップなどで、大雨や地震など各現象によって避難経路が異なるかを調べておきましょう。例えば大雨のときには川を渡るような経路は危険な可能性があります。
- ◆ また、家族と同居している場合には、いざという時の連絡手段や集合場所などについてもしっかりと決めておきましょう。

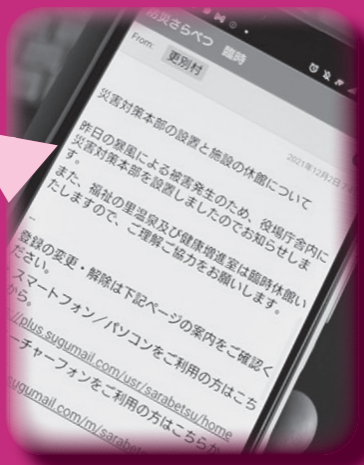
- ☑ 複数の避難場所
- ☑ 複数の避難経路
- ☑ 家の周辺で危険性の高い場所



ポイント3 防災メールを事前に登録！

いざというときのために便利な防災メール

- ★好きな時間にいつでも確認
- ★メモを取る必要なし
- ★聞き間違いなし
- ★停電時でも確認可能



地震や火災、台風などの非常事態に関すること、人命や財産に関わることを配信

- ◆ 防災行政無線の内容をご自宅のパソコンや携帯電話で確認できるようメール配信しています。
- ◆ 災害時に、メール機能が使用可能の場合は、防災行政無線と併せて防災メールに村からのお知らせを配信します。災害が発生する前に登録をお願いします。

ご登録はこちらからお願いします

登録される方は右のQRコードまたは <https://plus.sugumail.com/usr/sarabetsu/home> からアクセスし、空メールを送信ください。
※メールが届かない方は、「@sg-p.jp」ドメインあるいは「sarabetsu@sg-p.jp」のアドレスからのメール受信を許可する設定を確認ください。



防災メール QRコード

● 問い合わせ 総務課庶務係 ☎ 52-2111

海と大地 子どもふれあい交流 実施

更別村と友好姉妹都市宮城県東松島市との子供交流事業の一環として、平成3年から双方の児童がお互いのまちを訪れ交流する『海と大地 子どもふれあい交流』は、昨年30回の節目を迎え、今年は31回目です。

昨年、東松島市の子どもたちが本村を訪れたことから、今年も本村の子どもたち（小学5・6年生17名）がどんぐり子供交流委員会森田弘二委員長を団長に、ほかスタッフ（委員2名・教育委員会職員2名）とともに東松島市を訪問。東松島市の児童15名と7月28日から7月31日までの4日間を過ごし、交流を深めました。

昨年本村で交流を深めている6年生は1年ぶりの再会を喜び合い、緊張が隠し切れない様子の5年生も6年生につられるように友達を作ることができ、楽しみにしていた交流がスタート。いかだ作り体験や市内見学、レクリエーションなど交流をし、あっといっ間の4日間を過ごしました。

出発したときには緊張していた子どもたちも、4日間の交流を終え帰村したときには、『海で泳いだよ。楽しかった！』と元気に笑顔でバスから降りてきました。子どもたちの元気溢れる交流の様子を紹介します。

東松島市に到着！児童とスタッフで記念撮影。



出発の様子。「楽しんでください」と教育長から激励の言葉。

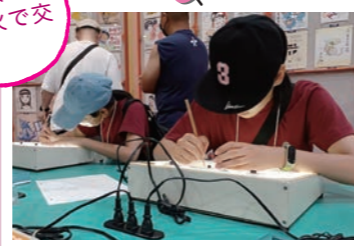
7月28日から7月31日



児童たちは、班に分かれて交流をスタート、体験などを通し絆を深めました。海では初めてのいかだ作り体験に挑戦。作ったいかだを海へ浮かべ競い合うなど盛り上がりました。

また、震災復興伝承館の見学や防災体験型宿泊施設「KIBOTCHA」に泊まり、震災や防災について学びました。

マンガ館での体験や市内見学をし、花火で交流しました。



功労者表彰式開催

開村記念日にあたる9月1日、村の自治や安全・安心な村づくりなどにご尽力とご貢献をいただいた方々の功績をたたえる功労者表彰式が、社会福祉センターで開催されました。

式典では、織田忠司村議会議長をはじめ多くの来賓が見守る中、西山村長が受章者へ表彰状と記念品を贈り「受章者のみなさんが郷土を愛し、本村の発展のために寄与されたことに敬意を表し、感謝申し上げます」とあいさつ。

受章者を代表し森田さんが「荣誉ある表彰を受け深く感謝します。このような章を受けられたのは地域の皆様、また諸先輩方のおかげです。ありがとうございます」と受章のお礼を述べられました。

自治功労者

七海 勇美さん



更別村情報公開・個人情報保護審査会委員として多年にわたる功績

霜野 敬夫さん



更別村営住宅委員会委員として多年にわたる功績

産業功労者

森田 政則さん



更別森林組合役員として多年にわたる功績

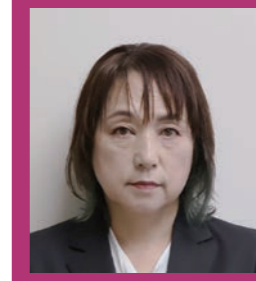
伊藤 眞之さん



更別森林組合役員として多年にわたる功績

社会功労者

酒井 裕子さん



民生委員児童委員（主任児童委員）として多年にわたる功績

若園 金作さん



更別村国民健康保険運営協議会委員として多年にわたる功績

産業功労者

小野 秀雄さん



更別森林組合役員として多年にわたる功績

道見 克浩さん



更別村農業委員会委員として多年にわたる功績

善行者

株式会社
レスターエレクトロニクス
成長戦略部門長兼
テクノロジージャーナル長
吉本 健さん（東京都）



村政の推進事業への多額の寄付

表彰状

遠藤 久雄さん



南十勝介護認定審査会委員として多年にわたる功績

感謝状

株式会社セイコーマート（札幌市）
まち・ひと・しごと創生寄附活用事業への多額の寄附

中央コンピューターサービス株式会社（中標津町）
まち・ひと・しごと創生寄附活用事業への多額の寄附

ホクレン農業協同組合連合会帯広支所（帯広市）
まち・ひと・しごと創生寄附活用事業への多額の寄附

スーパービレッジ構想
100歳までワクワク
世代を超えてみんながワクワク
幸せな地域 更別村

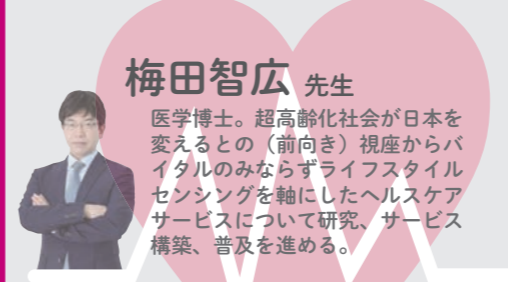
◆ひやくワク『見守りサービス』 スマートウォッチ 電力センサー

説明会

ひやくワクサービス見守りサービス『スマートウォッチ（ウェアラブルウォッチ）』と『電力センサー』について、奈良県立医科大学教授でMBTリンク（株）の代表、梅田智広氏を迎え説明会を開催します。
9月20日（水）、21日（木）と、10月11日（水）、12日（木）のそれぞれ午前10時からと午後7時から、農村環境改善センター向かいのサテライトオフィス「さらら」で開催しますので、お誘いあわせの上、お越しください。

★スマートウォッチ （ウェアラブルウォッチ）

心拍・血圧・血中酸素などの生体情報、歩数などの行動情報を日常的に計測することで自身の健康状態を見える化し、健康意識の向上を図ります。健康状態の危険信号をスマートフォンに通知することも可能です。



梅田智広 先生
医学博士。超高齢化社会が日本を変えるとの（前向き）視座からバイタルのみならずライフスタイルセンシングを軸にしたヘルスケアサービスについて研究、サービス構築、普及を進める。

*ライフスタイルセンシングとは、生活状況の見える化のこと。

★電力センサー

電力の使用時間などを計測し、居住者の在宅時における日々の行動を把握することで、生活の変化、変調が生じた際に速やかな対応ができるようになります。

※ライフスタイルカルテ
なお、見守りサービスをご利用の方には、生体情報（バイタル）や自身の健康状態の傾向を分析した評価が「ライフスタイルカルテ」として月に1度、サービス利用者へ通知されます。



サテライトオフィス『さらら』でお待ちしております。事前予約は必要ありません。お気軽にお越しください。

- 説明会開催場所
サテライトオフィス「さらら」
（農村環境改善センター向かい）
- 説明会参加費
無料
- 事前予約
不要
- ご不明な点は
Social Knowledge Bank 合同会社
☎ 65-0366

2023	9月					
日	月	火	水	木	金	土
○	開催日	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
ご参加お待ちしております						
日	月	火	水	木	金	土
○	開催日					10月
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
いずれの日も ①10:00- ②19:00- (各日2回開催)						

◆e コグニケアが名前を変えて （株）オカモトが担当します

令和4年度にひやくワクサービスとして実施した『e コグニケア』は、（株）オカモトの担当となり『健康いきいき教室』となりました。

サラパークホールから、インストラクターが生配信しながら運動をサポート。

ご自宅にいながらも頭の体操や軽運動が行えますので、ぜひご参加ください。

なお、地域の方やお友達と集まって直接参加いただくことも可能です。

●健康いきいき教室

来月2月以降、直接参加およびオンライン参加についてサブスク（定額利用サービス）へ移行を検討中

- 健康いきいき教室
毎週木曜日
10時30分～11時30分
- 場所
・サラパークホール（直接参加：有料1回100円）
・上更別ポピーマート（オンライン：無料）
・ご自宅（オンライン：無料）
※ご自宅からの参加の方もいます。

●ご利用になるには

ひやくワクサービスへのお申し込みが必要となります。詳細は担当までご連絡ください。

健康いきいき教室担当:オカモト(☎ 52-3455 サラパーク)

※オンライン参加について

インターネットがない方も、ひやくワクサービスの「無料貸し出しスマホ」をご利用になることで参加が可能です。下記までお気軽にご相談ください!



上更別ポピーマートとオンラインの様子

●問い合わせ

企画政策課スーパービレッジ推進室 ☎ 52-5252
Social Knowledge Bank（ソーシャルナレッジバンク）合同会社 ☎ 65-0366

letter from Takeshi



村長室 だより

NO.83

多くの意見・要望を村政に!

十勝圏活性化推進期成会 夏季中央要請（東京要望）に参加

7月26日、十勝圏活性化推進期成会夏季要請活動（東京要望）に十勝町村会副会長として参加。今年も4班編成で課題・要望別に要請活動を行い、私は浜田新得町長、飯田幕別町長、手島芽室町長、高瀬音更町議会議長とともに文科省・農水省を回りました。文科省では、梁副大臣と面談。「畜産大学の整備促進・宇宙港北海道スペースポートの整備・フードバレーとかちの推進・再生可能エネルギーを活用した地域振興・研究開発への支援・誰もが安心できる地域医療の確保・安心して子育てできる支援の充実・教育環境の充実と教育施設の整備促進」について要請し、私からは特にGIGAスクール児童用タブレットの更新について、各自治体への財政支援をしっかりと行ってもらいたいと強調してきました。

続いて農水省へ赴き、渡邊毅大臣官房長、渡邊洋一畜産局長、佐藤農村政策部長他を訪れ「先進的で持続可能な十勝農業の実現に向けた支援の充実・スマー

～子どもからお年寄りまで
笑顔と笑い声があふれ、
一人ひとりが輝く村～

ト農業に対応した生産性の高い農業農村整備事業の推進」を含む8項目を要請したほか、今最大の課題のロシアのウクライナ侵略による農業資材・肥料・飼料・燃油の高騰、酪農における生産調整、乳価や市場消費の低迷、畑作（甜菜）での転作の動きなど、一連の危機的で厳しい農業経営に直面している生産者への緊急支援策の早急で確実な実行について強く要請を行いました。

この日までに町村会三役として、地元帯広や札幌での要請活動を積み重ねてきましたが、農業現場の大変な状況について、関係各官庁・機関に繰り返し繰り返し実情を訴えていく必要があると感じました。また、現在行われている支援策の継続と更なる拡充に向け、気を緩めることなくしっかりと取り組んでまいります。

デジタル田園都市国家構想推進自治体パネルディスカッションに参加

同日の午後は、デジタル庁村上統括官の講演、自治体向け職員セミナーに職員とともに参加し、その後、SO-JAPAN（スマートシティイノベーションイニシアティブ）主催の特別フォーラム「デジタル田園都市国家構想推進自治体パネルディスカッション」のパネラーとして、岡山県吉備中央町の山本町長・デジタル庁鈴木氏・南雲S.O専務理事とともに「well-being（幸せ度）指標を活用した政策デザイン」の事例発表を行い、本村で2回実施したアンケート（主観指標）をもとに、内閣府が発表している更別村の幸福度の客観指標分析と比べ鮮明になった「移動や買い物」での幸福度の指数の低さと課題について、アドバイザー等もいただきながら議論を行いました。今後の政策に活かしていきたいと考えています。

保 健 だ よ り

9月は世界アルツハイマー月間です

vol.124 保健師 藤田 光

認知症を理解し笑顔で接しましょう

～アルツハイマー月間とは～

1994年「国際アルツハイマー病協会」は世界保健機構(WHO)と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、この日を中心に認知症の啓蒙を実施しています。また、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、さまざまな取組を行っています。

～認知症について～

脳の病気や障害などさまざまな原因で脳の細胞がダメージを受け働きが悪くなることにより、日常生活全般に支障が出て6か月が経過した状態をいいます。

国が2012年に行った調査では、高齢者の4人に1人は認知症との結果が出ています。

また、「若年性認知症」と言われる65歳以下での発症や遺伝性のケースもあります。認知症は高齢者の方だけの病気ではなく、とても身近な病気です。

～認知症の方の気持ち～

右の言葉は、認知症の女性の日記(認知症サポーター養成講座標準教材より)です。これを見ると認知症の方は何もわからないわけではなく、自分がどうなっているのか、どうなっていくのかわからない苛立ちや不安があることがわかります。(日記中の「あね」とは娘のこと。)

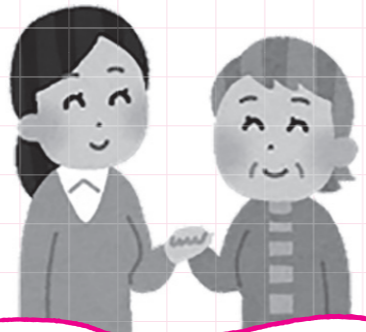
皆さんは、この日記を読み、どのように感じたでしょうか？



9/14日 あねは、おじいちゃんに 話を聞いてくれたり
毎日 お茶を飲んで、お話を聞かなくなると、
たまに自分から話しかけ、お茶を飲ませてくれたり。
ハンカチを洗って、サウナ/2月長ったりして、
アネツラさんに行きます。アネツラさんのリハビリ
が、お茶を飲んで、お話を聞かなくなると、
たまに自分から話しかけ、お茶を飲ませてくれたり。

★認知症の方との接し方★

- ①気持ちに寄り添い自尊心を傷つけない
一見理解できない行動にも本人なりの理由があります。頭ごなしに否定したり、子ども扱いと自尊心を傷つけ、「嫌な思いをした」という感情を残すこととなります。
- ②本人のペースにあわせる
本人の様子をよく見て、焦らせたり、急がせないようにしましょう。一度に多くのことを伝えようと混乱させてしまうことがあります。ゆっくりと簡潔にわかりやすく伝えましょう。
- ③笑顔でこやかに接する
理解は難しくても表情や感情は伝わります。多少困った行動をとってもなるべく笑顔で接するよう心がけましょう。



気になったらまずは相談を！
一人で抱えこまず、ご自身のこと、ご家族のこと、お気軽にご相談ください。

- ◆更別村地域包括支援センター
保健・医療介護に係る総合相談窓口です。保健師・社会福祉士など専門職が相談に応じます。相談は無料です。
保健福祉課内 ☎ 53-3000
- ◆もの忘れ相談外来
認知症に係る医師の診察だけでなく、ご家族の相談にも応じています。(完全予約制)
更別村国民健康保険診療所 ☎ 52-2301

- ◆認知症カフェ(1回 100円)
お茶を飲みながら認知症や介護について気軽に話し合える場です。
*さらべつ介護カフェ
毎月第3月曜日(※祝日の場合は変更)
10時00分～12時00分
街なか交流館 ma・na・ca
- *かみさらべつ介護カフェ
年4回程度(※その都度お知らせ)
10時00分～12時00分
地域コミュニティホールオアシス

問い合わせ
社会福祉協議会
☎ 53-3500

●問い合わせ 地域包括支援センター (保健福祉課保健推進係) ☎ 53-3000

お知らせ

「一人暮らし高齢者等の訪問活動」と「生活状況に関する調査」実施について

村では、コミュニティナースと協力し、65歳以上の一人暮らしや夫婦世帯等を対象にした健康や生活状況等を確認する訪問活動を実施します。なお、40歳から64歳までの方へは生活状況に関する調査(ウェブアンケート)を実施しますので、ご協力をお願いいたします。

①一人暮らし高齢者等の訪問活動

- ◆対象者
65歳以上の一人暮らしの方、65歳以上の夫婦世帯等
※対象となる方には個別に文書を送付しています。
- ◆期間
令和5年9月～令和6年3月(月曜日から金曜日)
- ◆訪問時間
9時00分から17時00分までの間
- ◆内容
訪問による健康や生活状況の聞き取りなど(10分～20分程度)
- ②生活状況に関する調査(ウェブアンケート)
- ◆対象者
40歳から64歳までの方
- ◆配布時期
令和5年8月下旬を予定
- ◆回答方法・回答期間
ウェブ回答・令和5年8月下旬～9月下旬を予定

●問い合わせ
保健福祉課保健推進係

☎ 53-3000

コミナス通信 vol.15

コミュニティナースが住民のみなさんと関係づくりを進めています。

昨年から村に移住し、村が掲げる“100歳までワクワク働けてしまう奇跡の農村”を作るべく、高齢者の方々の“楽しい”や“嬉しい”の瞬間をご一緒にしています！コミュニティナース(以下「コミナス」という。)は医療資格に関わらず、暮らしの中で誰もが誰かの元気を応援できるつながりを“つくります”。

一人暮らし・夫婦世帯を訪問します

65歳以上の一人暮らしの方および65歳以上の夫婦世帯等の方で健康状態を把握していない方を対象に、コミナスによる訪問を行います。対象者の方へは保健福祉課より文書送付がありますのでご確認ください。なお、コミナスでの事前連絡はいたしません。ご不在の場合やご都合が悪い場合は、改めてお伺いいたします。お忙しいところ恐縮ですが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



健康や生活状況の聞き取りなど(10分～20分程度)の予定です。よろしくお祈りいたします。

- 問い合わせ
企画政策課スーパービレッジ推進室 ☎ 52-5252
コミュニティナース更別事業所 ☎ 070-7568-2493

毎週木曜日の午後は活動拠点の福祉の里温泉のロビーに滞在！お気軽にご相談ください。



左から いまむー・やや・ゆみ です

生活状況に関する調査協力をお願い

保健福祉課より委託事業の一環として、村にお住いの40歳から64歳の方を対象に『生活状況に関する調査』をお願いすることとなりました。詳細は、アンケートに関する説明チラシを調査対象の方のご自宅ポストへコミナスが投函させていただきます。回答はインターネットを活用しウェブアンケートになります。期限は令和5年9月末となりますので、アンケートへのご協力をお願いします。なお、インターネットでの回答方法などご不明な点はお気軽にご連絡ください。

声のテーブル ～広聴ハガキをいただきました～

Q クマの出没情報について、防災行政無線で放送されていますが、いつも正しい出沒場所がわかりません。○区○線ではなく、防災メールにグーグルマップで位置情報のアドレスを記載するか、住所を詳しく記載するなど、正しく教えてください。

A 「クマの出没情報」に関するご質問について、次のとおりお答えします。

貴重なご意見ありがとうございます。農業被害をもたらす有害鳥獣の中でもクマにおいては、人畜に被害を及ぼす可能性があるため、目撃情報があった場合は防災行政無線で放送し注意喚起しています。

クマが目撃される場所が林の中や道路、畑などで、また、高速で移動している場合がほとんどのため、一概に住所を特定してお伝えすることが困難と判断し、放送では目撃された行政区とあわせて『○線○号付近』といった大まかな場所がわかるようお伝えしています。そのため、ご指摘のとおり、一般的な住所ではなく路線名を放送しているためグーグルマップなどで位置を調べることができません。

しかしながら、ご意見にあります通り、出沒場所を視覚的にわかりやすくお伝えすることは大切なことですので、村ホームページに新たに『クマ出沒情報について』というページを作成しました。目撃・痕跡情報のあった場所を印した路線入りの地図を用意しました。

のでご利用ください。

(掲載場所)

<https://www.sarabetsu.jp/shigoto/agri/kuma/>

仕事・産業/
農業に関する
こと/クマ出
没情報



秋のヒグマ注意特別期間について

9月2日(土)から10月31日(火)まで、秋のヒグマ注意特別期間として注意を呼びかけています。クマは一般的に冬眠を控えた秋に餌を求めてより活発に活動するといわれています。野山に入るときは「1人で入らず、音を出しながら歩く」、「食べ物やごみは必ず持ち帰る」、「薄暗いときは行動しない」、「クマのフンや足跡などを見たらすぐ引き返す」などの対策をするとともに、事前にクマの出沒情報を確認しましょう。一番大切なことはクマに出会わないことです。十分に注意してください。

※畑の被害があった場合や、クマを目撃または痕跡を発見した場合は、下記までご連絡ください。

●問い合わせ

更別村鳥獣害防止対策協議会事務局
(産業課農業振興係) ☎ 52-2115

新たな取組・エキノコックス対策



駆虫薬「ペイト」の写真

エキノコックス症検診の今後の予定

*総合健診にあわせて検査
10月30日、31日、11月1日、2日
12月11日、12日
*エキノコックス症検診
12月25日

●問い合わせ

住民生活課住民生活係(駆虫薬) ☎ 52-2112
保健福祉課保健推進係(検診) ☎ 53-3000

村では、エキノコックス症対策として駆虫薬「ペイト」の散布を今年度より開始しました。駆虫薬は、魚粉を主原料とした餌に混ぜ込んだもので、この駆虫薬を散布し、摂取したキツネからエキノコックスが駆除され、人への感染を防ぐ仕組みです。駆虫薬の散布は、5月から10月の各月1回(毎月下旬・100m間隔に1個散布)実施し、散布前と散布後にキツネのエキノコックス感染率を調査することで、効果を測定します。同様の事業は道内各地で実施されており、本村も今年度より取り組むことになりました。なお、駆虫薬をペットなどが食べても害はありません。

エキノコックスは、キツネや野ネズミに寄生し、成虫が排出する虫卵を人が口から摂取すると、人の腸内で卵から幼虫になり、主に肝臓に寄生し『エキノコックス症』という病気を引き起こします。人への主な感染経路は、エキノコックス症に感染したキツネや犬に直接接触することや、エキノコックスの虫卵に汚染された山菜や沢水、手指を介しての感染です(人から人へ直接感染することはありません)。感染しないようキツネなどにエサを与えないことや、家の周りにエサになる生ごみを置かない、また、山菜、野菜、果実はよく洗って加熱するなど感染対策をしましょう。※なお、人への感染の早期発見・治療のため、エキノコックス症検診を受けましょう。

運転免許証の 自主返納を支援しています

更別村生活安全推進協議会では、高齢者の交通事故を防止するため、運転免許証を自主返納し、運転経歴証明書の交付を受けた方への支援として「高齢者運転免許証自主返納奨励事業」を実施しています。

◆運転経歴証明書とは？

運転免許証を自主返納した方が申請でき、運転免許証と同じように公的な顔写真入りの身分証明書となります。交付申請は、帯広警察署または帯広運転免許試験場で、交付手数料として1,100円が必要です。

◆高齢者運転免許証自主返納奨励事業の対象者
更別村に住所がある65歳以上の方で、運転免許証を自主返納し、運転経歴証明書の交付を受けてから1年以内の方です。

- *申請窓口 住民生活課住民生活係
- *必要な物 印鑑、運転経歴証明書
- *交付金額 どんぐり商品券 3000円分

●問い合わせ

更別村生活安全推進協議会事務局
(住民生活課住民生活係) ☎ 52-2112

インボイスが 必要な事業者の方へ

令和5年10月1日からいわゆるインボイス制度が開始されます。

事業者(個人・法人)が消費税申告で仕入税額控除を行う場合、インボイス(適格請求書発行事業者登録番号、税率などの事項が記載された書類)が必要となります。

村が交付する納付書などについては、10月1日からインボイス対応をする予定です。

10月1日以降、インボイスを必要とする事業者の方で、村からインボイスが交付されなかった場合は、お手数ですが、各担当部署にご連絡いただき、インボイスの交付をご依頼いただけますよう、お願いいたします。

なお、インボイスを必要としない方(事業主ではない個人の方など)にもインボイスが交付されることがありますが、新たに消費税の負担が増えたものではありませんので、ご理解願います。

●問い合わせ

総務課財政契約係 ☎ 52-2111
※インボイス交付依頼は各担当部署へ

おうちで予防ごはん ～今月のレシピ～

鮭とキャベツの蒸し焼き

◆材料(4人分)

キャベツ 1/4カット、きのこ(お好みで) 1パック、
鮭 4切れ、マヨネーズ大さじ2、味噌大さじ1、めんつゆ大さじ1、みりん大さじ1、一味お好みの量



1皿分
カロリー 167kcal
塩分 0.8g 食物繊維 2.0g

キャベツには、食物繊維が豊富に含まれています。

食物繊維は、腸内環境を整えるほか、余分なコレステロールを吸着させて排出させたり、血糖値の上昇を緩やかにする効果が期待でき、生活習慣病の予防に大切な栄養素です。おいしく食べられる旬の時期にたっぷり味わいましょう。

<つくり方>

- ①キャベツは食べやすい大きさにざく切りし、きのこは石づきを取り除いて割いておく。
- ②鮭は分量外の塩と料理酒をふって15分ほど置き、鮭の水分をペーパーでふき取る。
- ③フライパンにキャベツときのこを敷き詰め、その上に鮭を乗せる。
- ④火をつけて弱火で加熱し、じっくり蒸し焼きにする。
- ⑤食材に火が通ったら、マヨネーズ・味噌・めんつゆ・みりんを混ぜ合わせたタレをかけ、再びふたをして、加熱したら出来上がり。

●問い合わせ 保健福祉課保健推進係 ☎ 53-3000
管理栄養士 小田 いつみ

更別農業高校 ニュース

農業クラブ全道技術競技大会に参加して

Sarabetsu Agricultural High School News

生活科学科3年
私は8月8日に帯広農業高校で行われた全道技術競技大会の農業鑑定競技会(分野・生活)に出場しました。夏休みを利用して、学校で勉強会として他の参加者と一緒に学習をしました。過去問を多く解いたり、教科書を読み込んだりしたので、今回で2回目となる全道大会は前回よりも自信をもって取り組むことができました。競技中は、少し焦ってしまいましたが、問題を解けたと感じています。結果として最優秀賞をとることができ、とても嬉しかったです。10月下旬には全国大会があるので、全国に向けて勉強を重ね、全国最優秀賞を取りたいと思っています。また3年間の集大成となるよう仲間とともに頑張りたいです。



生活科学科1年
私は高校に入学するまで「農業クラブ(農ク)」というのを知らず、技術競技大会があることも知らなかったのですが、全道大会の会場として選ばれたときは、正直驚きました。夏休み中も登校しながら勉強しました。初めての大会だったので、勉強方法もよく分からない中でしたが、自分なりにコツコツ勉強することができました。大会当日は、緊張のせいもあり、思うような取り組みができなかったのですが、あまり自信がありませんでした。競技後の自己採点では、自分の想像を超える点数を取ることができ、優秀賞を獲得することができたので良かったです。熊本で行われる全国大会に向けて、残り2か月間、きちんと勉強して挑みたいと思います。



VILLAGE TOPICS
村のわだい
11days
VILLAGE TOPICS

8月11日(金)、十勝スピードウェイでは、今年で25回目の開催となった全日本ママチャリ耐久レースが開かれました。56チーム398名が参加し、11カテゴリーで6時間にわたり競い合い、遠くは関東から参加したチームもありました。西山猛村長の「十勝スピードウェイへようこそ!6時間という耐久レース。チームの団結力で乗り切り、更別に、十勝に元気を届けたい」という宣言で、1周3.4キロのコースを力走しました。



7/29 令和5年度第2回人材育成事業 SDGs de 地方創生

地域創造複合施設サラパークホールでは、NPO 法人イシュープラスデザインの佐藤理恵さんを講師に『SDGs de 地方創生』と題した令和5年度第2回人材育成事業が開催。参加者は、架空のまちの住人として『商店業』などさまざまな職種になり、配られたカードを使ってSDGsの目線から持続可能なまちづくりを考案。参加者からは「自分のカードをオープンにし、周りとの協力が達成への近道だと途中で理解しました。早めに気づくことがカギですね。楽しかったです」と感想がありました。



7/25~27 夏休み特別企画 どんぐり塾開校

農村環境改善センター視聴覚室を会場に教育委員会主催の夏休み特別企画『さらべつむら どんぐり塾』が今年も3日間の日程で開催し、小学生から中学生延22名の子供たちが参加しました。どんぐり塾は、家庭学習や自分で学習する習慣を身につける目的で毎年開催され、夏休み中にじっくり取り組んでみたいことや、わからないことにアドバイスがほしい子どもが、宿題やドリルを持って訪れ、サポート役の村教育支援員や元教員で村内在住の方、教育委員会職員がお手伝いしました。

中学生が活躍

特別国民体育大会ソフトテニス競技北海道ブロック予選会(少年の部・ダブルス)に出場する更別中央中学校生徒の瀧口夕芽さんと太田彩心さんが教育委員会を訪れ、教育長に意気込みを伝えました。

瀧口さんと太田さんは、7月に開催された全十勝中学校夏季ソフトテニス大会でベスト4に入ったことで選出され、8月10日~12日に北見市で開催される北海道ブロック予選会にダブルスで出場します。大会に向け瀧口さんは「中学校最後の大会なので、自分たちの力を出し、自分たちらしく楽しみたい」、太田さんは「今までの3年間で練習したことを全て出し切り、二人で頑張りたいです」と意気込みを話してくれました。

島村雅樹校長は「このペアは、中体連でも北海道大会へ進出しました。道大会では2回戦敗退となりましたが、気温が30度のなか、頑張りました。今度の大会がペアとして最後の大会で、また、ほとんどが高校生というなか、中学生で出場します。実力のあるペアとの戦いのなか自分たちらしく頑張っ

ソフトテニス国体道ブロック予選会出場

ほしい」と話し、細川教育長は「全道大会の出場おめでとうございます。頑張ったことは、今後の人生につながります。人生の思い出になるよう、どうやって1点取れるかを最後まで諦めず頑張ってください」と激励しました。



左から細川教育長、瀧口さん、太田さん



8/11 4年ぶりに開催
ふれあい広場 2023 さらべつ

老人保健福祉センターを会場に社会福祉協議会主催の「ふれあい広場 2023 さらべつ」が開催されました。4年ぶりの開催となったふれあい広場は、これまで11月開催でしたが試験的に8月に開催され、カフェゆーゆ、ぱくりっこ図書館、クローバーモアのドーナツ販売、サッチャル館やハンドメイドサークルの手作り品販売のほか、クッションカバーづくり、アロマハンドマッサージ、モルック体験、学童さんのおやつやさん、更別農業高等学校による野菜販売もあり、多くの方で賑わいました。



8/10 更別産の美味しい野菜を使って
キッズクッキング開催

子育て応援課と教育委員会が共催する「キッズクッキング」が開催され、小学生10名が参加しました。メニューはオムライス、キャベツのスープ、きゅうりのピクルス、ブルーベリーのフロズンヨーグルト。子どもたちは、5班に分かれ、切った野菜をフライパンで炒めたり、オムライスを作りました。子どもたちからは「簡単なので家でも作れそう」、「知らないこともあり楽しかったです、また食べたい」、「好きなものだったので嬉しかったです」と感想が寄せられました。



8/7 3種類の工作に挑戦
夢ん子工作教室開催

農業環境改善センター視聴覚室では、毎年夏休みに実施している『小学生夢ん子工作教室』が開催され、6名が参加しました。工作は、トイレトペーパーの芯で作るロケット作り、風船で作るランプシェード、バスボム作りの3種類で、子どもたちは自分の興味のある工作にチャレンジ。職員がサポートしながら、それぞれ自分らしい形やデザインを考え、おもいおもいに作成しました。ロケット作りに参加した子どもからは「新聞紙をぎつく丸めるのが難しかった」との感想がありました。



7/31 更別農業高等学校を散策
ネイチャーウォーク

更別農業高等学校では、北海道アウトドアガイド資格のあるネイチャーガイド齋藤彦馬さん(緑町)と巡る『更別農業高校ネイチャーウォーク』が実施され、村内外から17名が参加しました。ネイチャーウォークは、高校の裏門をスタートし、野菜などを育てているハウスの横、泉心寮の横や高校の森を散策。参加者は齋藤さんからイタヤカエデなどの植物の名前の由来や、途中で見つけたオオシデムシやジガバチ、ザトウムシなどの特徴について説明を受け身近な自然を学びました。



8/20 4年ぶりに余興披露も
コムニの里の夏まつり

コムニの里さらべつでは、新型コロナウイルス感染症が落ち着いたことから、夏まつりを4年ぶりに一般開放で開催。この日は、あいにくの雨天となりましたが、室内交流スペースでは久しぶりに太鼓、オカリナ、エイサー太鼓、ヨサコイソーランが外部団体により披露され、利用者は楽しいひとときを味わいました。施設長の荻原悦子さんは「外部から太鼓など余興の方を呼ぶことができ、とても嬉しく思います。雨天でしたが利用者の方が喜んでくれ良かったです」と話してくれました。



8/16 こどもの飲込みを学ぶ
令和5年度育児講演会開催

老人保健福祉センター集会室では、つがやす歯科子ども歯科(沖縄県うるま市)の牧野秀樹歯科医師を講師に『こどもの飲込みについて』と題した育児講演会が行われ、保護者や子どもに関わる仕事をしている方など35名が参加しました。牧野氏は「歯医者は歯を診るだけではなく、虫歯の原因などその子どもの背景に目を向け多角的に診ることが大事。多職種が連携し、地域でケアしましょう」、「心配なのは孤食、子どもと一緒に食べるよう心がけて」と講話、参加者は熱心に耳を傾けました。



8/8 多世代交流を楽しもう
子どもボランティア実施

シルバーハウジング団らん室では、「子どもボランティア」が実施され、小学生5名が参加。入居者が準備した十勝の特産品などが書かれた「十勝カルタ」や読み手が童謡を歌う「童謡カルタ」、「UNO」をして楽しみました。UNOではルールがわからない入居者にわかりやすく説明する子どもたちの姿もあり、交流は和やかな雰囲気になりました。その後は、同日に実施された地域食堂のカレーライスをお皿に盛るなどのお手伝いをし、子どもたちは「楽しかった」と笑顔になりました。



8/8 健やかな成長を願って
新生児のおもちゃを制作

月2回活動しているハンドメイドサークルが新生児のおもちゃ制作を担当することになり、カフェゆーゆでは、この日集まった5人が新生児の腕につけると音が鳴る『赤ちゃん用がらがら』を制作しました。高畑昭子さんは「担い手がないということで頼まれました。のんびりと、できる範囲で楽しく作りたと思います。健やかに育ってほしいですね」と話してくれました。制作されたおもちゃは、おむつなどと一緒に『ハローベビープレゼント』として子どもたちへ届けられる予定です。

村からのお知らせ

Information from the Village



各種アイコンの説明

📢 = お知らせ 🏠 = 健康・福祉 👤 = 募集 💰 = 税金 📄 = 国民年金

日とき 所場所 対対象 ¥料金

定定員 申申し込み 問問い合せ

☎電話番号 ㊚ファクス ㊜メールアドレス

行政に対するご意見やご要望などを、ハガキ・Eメールなどでお寄せください。
 ※ハガキは3か月ごとに広報紙へ折り込みしています。

宝くじ
 宝くじがネットで
 購入できる！
 宝くじ公式サイト

宝くじの収益金は、明るく住みよいまちづくりに使われます

お問い合わせ先 宝くじコールセンター TEL 0570-01-1192 (ナビダイヤル 有料)
 TEL 011-330-0777 (無料)

●不正軽油ストップ110番
 ☎0800・80002・110
 十勝総合振興局課税課
 ☎27・8510

**宝くじのインターネット
 ネット購入について**

宝くじの収益金は、私たちのまちづくりに役立てられています。「宝くじ公式サイト」では、いつでもどこでも宝くじが購入できます。今年4月からはインターネット専用宝くじ「クイックワン」が宝くじ公式サイトで新発売。ぜひ、ご登録ください。

公証週間の 電話相談について

10月1日から7日まで公証週間です。公証制度を広く国民の間に普及させるため、日本公証人連合会本部において、同期間中、遺言や任意後見契約など公証事務全般に係る電話相談を実施します。

10月1日(日)～7日(土)
 9時30分～12時00分
 13時00分～16時30分
 日本公証人連合会本部
 ☎03・3502・8239

不動産(土地・建物) 相続登記申請の義務化

不動産の所有者が死亡した場合、法務局に相続登記申請手続が必要となりますが、令和6年4月1日から同登記の申請が義務付けられ、正当な理由なく義務を怠ったときは、10万円以下の過料の適用対象となりますので、速やかな手続をお願いいたします。

詳細は、法務省ホームページをご覧ください。釧路法務局帯広支局にお問い合わせください。

また、相続登記の申請は、専門家の司法書士に依頼することもできます。依頼される方は釧路司法書士会相続登記相談センター(無料相談 ☎0120・13・7832)に

お知らせ

無料相談会開催

くらしのよろず無料相談会を開催します。遺産相続、介護問題、離婚問題、多重債務問題、建物耐震問題、相続税対策、老後資金設計など幅広い分野にワンストップで対応します。この機会にぜひ相談ください。

10月9日(月・祝)
 10時00分～16時00分
 (受付締切15時30分)
 所とかちプラザ1階大集会室
 (帯広市西4条南13丁目1)
 どなたでも可
 ※無料
 ※予約不要
 関くらしのよろず無料相談会
 実行委員会
 (帯広商工会議所)
 ☎67・7383

動物愛護週間 パネル展の開催

9月20日から26日まで動物愛護週間です。動物の愛護および管理に関する法律に基づき、広く国民に動物の愛護と適正な飼育についての関心と理解を深めるため、十勝総合振興局において

お問い合わせください。 釧路地方方法務局帯広支局

北海道苦情審査委員の制度とは、道の機関が行った業務に関する苦情を、皆さんに代わって、苦情審査委員が公平で中立な立場から審査する制度です。皆さん自身の利害に関する苦情であれば苦情審査委員に申立てができます。

申立書などの様式やリーフレットは道ホームページをご覧ください。なお、申立書は窓口へ持参するほか、郵送、ファックス、メールでも受け付けています。

北海道総合政策部知事室
 道政相談センター
 ☎011・204・5523

国民年金

**年金生活者支援給付金
 制度について**

年金生活者支援給付金は公的年金等の収入や所得額が一定基準額以下の年金受給者の生活を支援するために、年金に上乗せして支給されるもの

て「ペットとの関係を考えるパネル展示」を開催します。

9月19日(火)～22日(金)
 十勝総合振興局1階
 十勝総合振興局保健環境部
 環境生活課自然環境係
 ☎26・9028

通行規制区間への 侵入は危険です

道路で災害が発生した場合などには通行止めなどの規制が実施されます。脇道などから通行止め区間へ侵入すると、損壊した道路からの転落や崩落した土砂に巻き込まれるなど、重大な事故につながる恐れがあります。

大変危険ですので、指定された迂回路のご利用をお願いします。なお、通行規制の状況は北海道地区道路情報ページ「通行規制情報」で公表されています。

十勝総合振興局
 帯広建設管理部維持管理課
 ☎26・9212

全国労働衛生週間の 実施について

全国労働衛生週間は、労働者の健康管理や職場環境の改善など「労働衛生」に関する国民の意識を高め、職場での自主的な活動を促して労働者

です。受け取りには請求書の提出が必要です。

●対象となる方

- 老齢基礎年金を受給中の方で次の要件のすべてを満たしている方
- ・65歳以上
- ・世帯員全員が市町村民税非課税
- ・年金収入額とその他所得の合計が約88万円以下
- 障害基礎年金・遺族基礎年金を受給中の方で次の要件を満たしている方
- ・前年の所得額が約472万円+扶養親族×38万円以下(扶養親族の年齢などによって金額が変化します)

●請求手続き

○新たに対象となる方
 対象となる方には、日本年金機構より請求手続きの書類(年金生活者支援給付金請求書)が送付されますので記入し提出ください。

○年金を受給開始する方
 年金の請求手続きとあわせて年金事務所または市区町村で請求手続きをしてください。

※ご不明なときはねんきんダイヤルへお問合せください。
 ☎21・1511

※なお、日本年金機構や厚生労働省から、電話でお客様の家族構成や金融機関の口座番号・暗証番号をお聞き

税金

納期限のお知らせ

固定資産税第2期と国民健康保険税第3期の納期限は、10月2日(月)です。

納税には便利で確実な口座振替をご利用ください。

住民生活課税務係
 ☎52・2112

したり、手数料などの金銭を求めることはありません。日本年金機構や厚生労働省を装った不審電話にご注意ください。

帯広年金事務所
 ☎21・1511
 役場住民生活課戸籍窓口係
 ☎52・2112

北海道 更別村
 Facebook&Instagram
 QRコードを読み取って
 フォローをしよう!

防災さらべつメール
 防災行政無線の内容をメールで配信
 QRコードを読み取るか下記にアクセスください
<https://plus.sugumail.com/user/sarabetsu/home>

卓球で全道へ

2023年度北海道卓球選手権大会(カデットの部)に出場する更別中央中学校生徒の吉田一翔さんと吉根陸翔さん、更別小学校児童の松野七星さんと吉根琉生さんが教育委員会を訪れ、教育長に意気込みを伝えました。

吉田さんと吉根(陸)さんは、7月25日に開催された全十勝卓球選手権大会(カデットの部)にダブルスとシングルスで出場。ダブルスでベスト4になり、またシングルスでは吉田さんは14歳以下でベスト8に、吉根(陸)さんは13歳以下でベスト16となりそれぞれ9月2日、3日で開催される北海道卓球選手権大会に出場します。大会に向け吉田さんは「ダブルスは前回悔しかったので、今回は全国を狙いたい」、吉根(陸)さんは「ダブルスもシングルスも自分の力を出し、悔いの残らないように頑張りたい」と意気込みを話してくれました。

また、松野さんと吉根(琉)さんも同十勝大会に出場し、9月に釧路で開催される北海道卓球選手権大会(カデットの部)の切符を手にしました。松野

さんは「ダブルスとシングルスで良い結果を出せるよう頑張りたい」、吉根(琉)さんは「去年は思うような結果が出せなかったので今年は頑張りたい」と意気込みを話してくれました。

細川教育長からは「全道大会出場おめでとうございます。作戦を練り、頭の中で何度もシミュレーションし、自分の目標に向かって、悔いの残らない大会となるよう頑張ってきてほしい」と激励しました。



左から細川教育長、吉根(琉)さん、松野さん、吉田さん、吉根(陸)さん

更別村農村環境改善センター図書室だより

本ごよみ

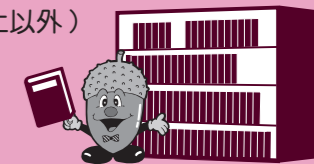
開館時間 9時30分～18時00分

休館日 火曜日および祝祭日(日・月・土以外)

住所 更別村字更別南2線96番地11

農村環境改善センター内

電話 52-3171



今月の展示

- 一般書コーナー
『敬老の日特集の本』
- 児童書コーナー
『おつきみのえほん』
『おじいちゃん
・おばあちゃんのえほん』



ジョイさんの読みきかせ

ALT(外国語指導助手)ジョイさんによる英語の絵本の読み聞かせを図書室で開催します。

ぜひお越しください。

■期間 9月15日(金)15時30分～



今月の読みきかせ

9月16日(土)11時00分～11時30分

- 『Kitty Cat Restaurant』
(英語で読みきかせをします)
- 『カリカリのぼうしやさん』



さらべつ大収穫祭 2023 開催決定

さらべつ大収穫祭2023では、今年もさらべつの「食」を結集し、多くの方に地域の味覚を楽しんでもらうとともに、さらべつの農畜産品や特産品をPRします。

食コーナーでは今年も大綱を用意していますので、ぜひ皆様お誘い合わせのうえ、更別村ふるさと館へお越しください。

なお、プログラムやステージショーの詳細が決まりましたら、村ホームページなどでお知らせいたします。

◆日時

10月22日(日)10時00分～14時00分

◆会場

更別村ふるさと館
※入場無料、雨天決行

◆臨時無料バス運行

当日は役場前と会場を往復する臨時無料バスを運行します。駐車場に限りがありますので、臨時無料バスをご利用ください。

●問い合わせ

さらべつ大収穫祭実行委員会事務局
(ふるさと館内)

☎52-2211

更別っ子 活躍!

今月号では、十勝大会などで準優勝となるなど活躍中の子どもたちを紹介します!

更別バレーボール少年団 JVC



更別 JVC は小学2年生から6年生までの17名で活動中。混合チームとなり十勝管内で開催される大会に出場しています。今年の7月に開催された日勝選抜小学生バレーボール大会(主催、広尾町バレーボール協会)

では惜しくも準優勝に。子どもたちにプレー中に気をつけていることを聞くと、「声を出すこと、先輩の声を聴くこと、姿勢を意識すること」と話してくれ、また、今後の抱負には「勝ちたいです!」と元気いっぱいに答えてくれました。



新着図書案内

えほん



今月のおすすめ本

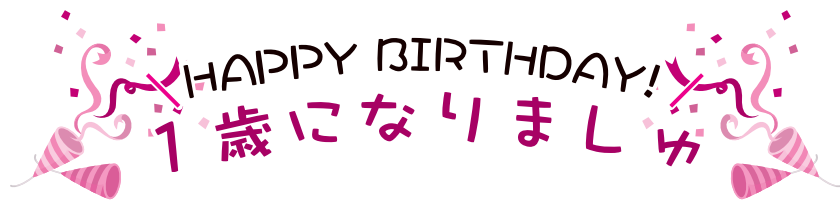
『アフリカではゾウが小さい』
岩合光昭 / 著
ボツワナ・ナミビアなど雄大な自然と迫力ある野生動物を撮影した一冊。

ちぎゅうのかいだん (松岡 たいひで)	もりのおへやをしようかいます (茂市 久美子)	パンパンパンタの (うしろ) かぞえつた よしあき)	リサとガスボール (アン オペラざへい) ・グットマン)	ぼくへのハヤ (伊藤 ハムスター)	プッチエットの (中脇 初枝) ほし)	なんてくさいんだ! (コーリン・ペフ)	こしたんたん (りとう ようい)	ずつといつしよ (ヴァルテル ・フォガート)
---------------------	-------------------------	----------------------------	------------------------------	-------------------	---------------------	---------------------	------------------	------------------------

児童文学・学習書ほか

文学・一般書

28歳フリーターが総理大臣と総選挙で戦ってみた (眞邊 明人)	エフロン手帖 (平野 レミ)	君が残した贈りもの (藤本 ひとみ)	自分流 光る個性の道を行く (辻 仁成)	花嫁純愛録 (赤川 次朗)	まもれ最前線! (神家 正成 他)	知らない損をすべし 配偶者控除 (中 正樹)	トワイライト (畑野 智美)	NASAの (ロバート・ウォー) □ポット蜂	鯉節を手削りする (永松 真依) 美味しい暮らし	18歳までに知っておきたい契約のななし (神坪 浩喜)	目でみる方言 (岡部 敬史 他)	不思議の国ニッポン 豊田 有恒 他)	江戸の女子旅 (谷釜 尋徳)	のぞいてみよう 外国の小学校 (ERIKO)	キホンがわかる! 税金とわたしたちの暮らし (三木 義一)	どこを食べているの? (藤田 智)	5回で折れるもつたのしい! (いしかわ ありがみ) ④おもちゃ (まりこ)
---------------------------------	----------------	--------------------	----------------------	---------------	-------------------	------------------------	----------------	------------------------	--------------------------	-----------------------------	------------------	--------------------	----------------	------------------------	-------------------------------	-------------------	---------------------------------------



戸籍の窓口

お悔み申し上げます

地域安全ニュース

- 更別村の交通死亡事故死ゼロ記録
1,892日(8月31日現在)
- 地域安全運動のお知らせ
『秋の全国交通安全運動』
9月21日から30日に秋の全国交通安全運動が実施されます。今年の運動の重点は、次のとおりです。交通ルールを守り、交通事故防止に努めましょう。
 - ・輸送繁忙期の交通事故防止
 - ・飲酒運転をはじめとする悪質、危険な運転の根絶
 - ・自転車の安全確保と交通ルール遵守の徹底
 - ・運転者の安全運転意識の向上
 - ・子どもと高齢者をはじめとする歩行者の安全確保
 - ・夕暮れ時と夜間の交通事故防止

8月1日付
派遣職員



主幹
企画政策課
おんだ
恩田
てっや
哲也さん

出身：千葉県
担当：スーパービレッジ推進室
趣味：ロードバイク、ドライブ

8月より地域活性化起業人として更別村に着任いたしました。スーパービレッジ構想推進に貢献し、あわせて北海道の大自然を満喫したいと考えております。よろしくお願いたします。

子育て世帯の皆さま
申請はお済みですか?

申請期限は
令和5年 9/30(土)まで

※北海道は、食料品などの物価高騰の影響を受けている子育て世帯の負担軽減と産品の消費拡大を図るため、平成17(西暦2005)年4月2日から令和5(西暦2023)年9月30日までにお生まれの子ども(対象児童)がいる北海道内の世帯に商品券等を支給します。

※対象児童は、令和5年8月1日(土)から9月30日(土)までにお生まれの新生児を対象に申請する場合の申請期限は令和5年10月31日(火)まで

北海道
お米・牛乳子育て応援事業

北海道は、食料品などの物価高騰の影響を受けている子育て世帯の負担軽減と産品の消費拡大を図るため、平成17(西暦2005)年4月2日から令和5(西暦2023)年9月30日までにお生まれの子ども(対象児童)がいる北海道内の世帯に商品券等を支給します。

対象児童は、令和5年8月1日(土)から9月30日(土)までにお生まれの新生児を対象に申請する場合の申請期限は令和5年10月31日(火)まで

申請が必要

申請期限は、令和5年9月30日(土)まで

対象児童は、令和5年8月1日(土)から9月30日(土)までにお生まれの新生児を対象に申請する場合の申請期限は令和5年10月31日(火)まで

申請方法
電子申請
※お持ち合わせのスマートフォンや電子申請をおすすめします。

TEL.011-350-7371
受付時間：9:00~17:00(休日も受付可)

https://hkd2023kosodate-ouen.jp

人の動き
2023年8月1日現在
※()内の数字は前月比

